

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年3月19日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年2月4日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	イタリア共和国
留学先大学	ヴェネツィア大学(日本語名) Universita Ca` Foscari Venezia(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	イタリア語・英語/英語
留学期間	2025年9月～2026年2月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月～2月 2 学期: 3月～7月 3 学期: 4 学期:
学生数	約16000人
創立年	1868年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 184 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため現地大学はなし
宿舍費	約 3500	円	大学オフィスへの手数料など含む
食費	約 2200	円	基本自炊、時々外食
図書費	0	0 円	
学用品費	30	円	教科書 1 冊購入
携帯・インターネット費	75	円	契約は TIM
現地交通費	125	円	水上バスの定期代(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		約 30 万円	ボスキヤリ参加、北欧周遊
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	保険会社へ直接請求され自己負担なし
保険費	0	56350 円	形態: 明治大学指定の保険
渡航旅費		約 30 万円	エミレーツ
ビザ申請費	0	0 円	
雑費	2000	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	約 8000 (=約 150 万円)	約 65 万円	
総計(A+B) ※円		約 215 万円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: 現地病院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省から発信(たびレジ)

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ヴェネツィア島内は、所々データ通信が届かないところがある。自分はTIMを契約していたが、友人の別キャリアも同様だった。大学や寮にはWIFIがあり、特に問題はない。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Revolutを主に使用したため、普段の支払も口座送金もすべてRevolutで日本円から両替していた。現地大学の学生証が、申請すれば現地口座を開設しキャッシュカードになるが、利用しなかった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

Mestre(本土側)にアジアマーケットが複数あるため、醤油などの基本的な調味料は調達可能。米もイタリア米の品種を選らべば特に問題はない。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Contemporary Politics in Italy	
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	1 st semester
単位数	6 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	Fugazzaotto Giulio
授業内容	近代イタリアの政治について
試験・課題等	期末試験のみ
感想を自由記入	近代イタリア政治の主要な出来事について時系列順に学ぶ。自分が政治経済に関心が高く、歴史上の重要な場面を抑えることができ興味深かった。講義の録画を残してくれるので欠席しても問題なく、留学中に感染症に罹った際に助かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
History of Venice	
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	1 st semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	SCURO Rachele
授業内容	14-16世紀を中心としたヴェネツィアの歴史
試験・課題等	期末試験
感想を自由記入	とにかく教授の英語の訛りが強い。少なくとも、私を含む多くの日本人は理解できていなかった。そのためあまり授業内容がわからずにいたが、期末試験が筆記試験のみだったため、お情けで単位をつけてもらったようにも思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Okinawan Studies: Language, Culture, History	
科目設置学部・研究科	LINGUE E CIVILTÀ DELL'ASIA E DELL'AFRICA MEDITERRANEA(アジア・地中海アフリカ言語文化)
履修期間	1 st semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と学生によるプレゼンテーション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	HEINRICH Patrick
授業内容	現地大学の日本学科修士の講義。様々な沖縄に関するテーマの中からグループ毎に選び、そのプレゼンとQ&Aを行う。また、補足的な講義も行われる。
試験・課題等	プレゼンテーション、期末レポート(成績はレポートによって決まる)
感想を自由記入	現地学生を修士課程のため、比較的レベルの高い議論が英語で行われる。日本人である自分でも知らない戦後の沖縄について学ぶことができ、プレゼンや活発な議論を好む人は向いていると思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Europe as an International Actor	
科目設置学部・研究科	PHILOSOPHY, INTERNATIONAL AND ECONOMIC STUDIES
履修期間	2 nd term
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が3回
担当教授	BIALASIEWICZ Luiza
授業内容	近代におけるヨーロッパの動きを地理学的な視点から学ぶ
試験・課題等	期末レポート
感想を自由記入	EUをはじめとした政治経済への関心が高く受講したが、地理学的なアプローチばかりで個人的にはあまり面白くなかった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

ビズリーチキャンパス、X(旧 Twitter)など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

具体名は控えるが、専門商社や財閥系リース企業など

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

自分は留学中にアメリカで11月に開催されるボストンキャリアフォーラムに参加した。現在、入社を前向きに検討している企業は留学中にオンラインインターン(ワークショップ)に参加し、2月に帰国後、早期選考で内定をいただいた。昨今就活の早期化が著しく、2-3月にはすでに本選考の締め切りを過ぎている企業もある。時差もあり大変ではあるが、3年生から留学する場合は留学先でも積極的に就活を進めることを推奨する。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	学内選考
留学開始年	1月～3月	学内手続き
	4月～7月	留学先への書類提出、滞在先確保
	8月～9月	ビザ申請、渡航
	10月～12月	授業
留学/帰国年	1月～3月	テスト・レポート、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

幼少期の在米経験や中学時のニュージーランド留学、そして国際日本学部での学びから EU を中心とした政治経済を学びたいと考えていた。また、ヴェネツィア大学はヨーロッパでは有数の日本学科を持ち、外から見た日本について学べると思い留学を決意した。

生活面については、世界屈指の観光地ということもあり英語を話すことができれば言語面での問題はほぼない。留学中に感染症に罹り約 1 か月間高熱があり入院したが、医療水準も特に問題なかった。ただ、住居関係でかなり大きなトラブルに巻き込まれたため、以下にその詳細を示す。

結論から言えば、ヴェネツィア大学の Housing Office および ESU(学生の滞在先確保を請け負う機関)の対応は極めて不誠実であり、後輩には早期の自主的な情報収集と備えを強く勧める。

渡航 3 日前、元々入居予定だった CX Mestre が運営上の問題により利用不可となった。以下がその後の経緯である。

CX が 2 週間のホステルを代替として提案→ESU が手配を行うと知らされ CX の提案をキャンセル→出発日になっても ESU から連絡なし、自分でホステルを手配→到着日に大学のオフィスを訪れるも「月末まで待て」と告げられる→CX 経由で 2 週間の代替宿泊を再度手配→そのチェックアウト前日になっても大学・ESU から一切連絡なし→ホステルに相談し 1 日延長→その翌日の 18 時ようやく寮が決まったとメールを受け取る→翌日入居。

つまり、どこに連絡しても「月末まで解決策は提示できない」と繰り返され、結局は当初の代替期間すら超過している。組織間の連携は皆無に等しく、自分から動かなければ路頭に迷っていた可能性すらある。唯一の救いは、代替先の Anda Venice Hostel が親身に対応してくれたことである。

最終的に Camplus S. Marta に入居し、月約 420 ユーロの 2 人部屋でキッチン・シャワー・トイレ完備、ジムや自習室もあり、設備面の満足度は高い。ただし、留学生、特に 1 学期間のみを学生を受け入れる物件は限られている。寮探しはとにかく早期に着手し、大学や ESU の手配に全面的に依存しないことを強く推奨する。